

体験型土木構造物実習施設利用状況

令和6年9月11日に宮城県建設センター17名の方が利用されました。
利用者の方々からは「施工業者の打設方法によって、強度や出来形に大きく差が出るため、日々の施工管理（監督）が大切だと感じた。」「実際に触れて実習を受けると、経験として記憶に残るため良いと思った。」などの意見をいただきました。



不適切施工について



表層品質と耐久性について



非破壊検査(テストハンマー)体験



非破壊検査(鉄筋探査)体験